

テクノテスター専用プリンタ

M255

取扱説明書

-
- このたびは、テクノテスター専用プリンタM255をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 - ご使用になる前に、この「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
 - お読みになった後は、大切に保管して必要なときにお読みください。
-

サンコーテクノ株式会社

使用上のご注意

- ご使用の前に、この「使用上のご注意」を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- ここには、安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

危険

- M255本体の電源用電池スロットには、専用ニッカド電池、または専用ACアダプタ以外差し込まないでください。
- 専用ニッカド電池用の充電器、専用ACアダプタの電源は、交流100V以外使わないでください。また、専用ニッカド電池の充電は、専用充電器以外使用しないでください。

警告

- M255本体および付属品の分解や修理・改造は絶対にしないでください。修理は、販売店にご相談ください。

注意

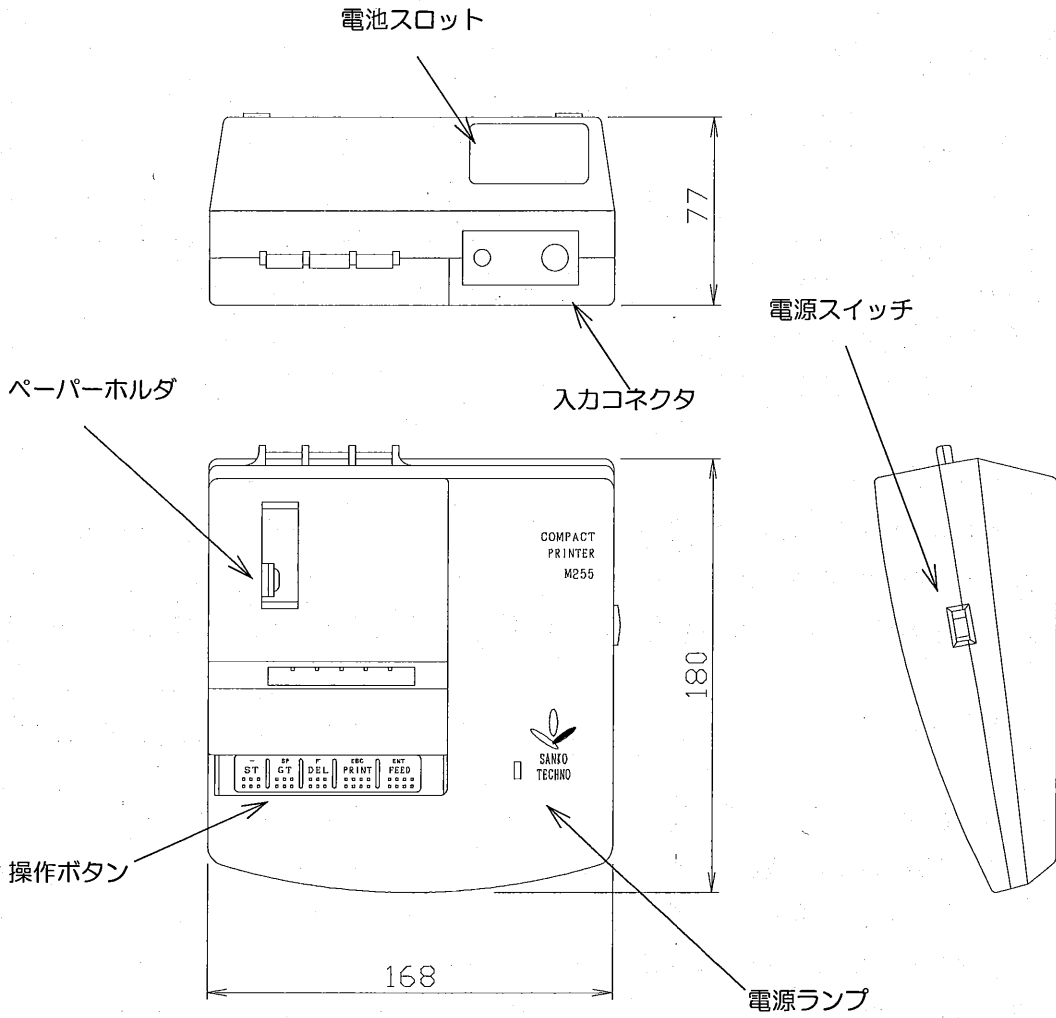
- 雨等、水のかかる場所での使用は避けてください。
- プリンタが故障する恐れがありますので、下記の事項は必ず守ってください。
 - ・ プリンタは精密機器ですので、落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。
 - ・ 水や油がかかった時は、乾いた布で素早く拭き取ってください。
 - ・ ホコリや湿気の多い場所、直射日光の当たる場所には、長時間放置しないでください。
- 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関して、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

目次

1. プリンタの概要	1
(1) 概略図	1
(2) 仕様	2
2. 試験機との接続	3
3. 電源の入れかた	3
4. データ印字	4
(1) 最大値の印字	4
(2) 現在値の印字	4
(3) TEST NO.のクリア	4
5. 設定の変更	5
(1) 設定モードへの入りかた	5
(2) 日付・時刻の変更	6
(3) 印字形式 (DATA PRINT FORMAT) の変更 (TEST NO.付/なし)	6
6. あとかたづけ	7
7. 電源の接続	7
(1) 専用ニッカド電池	7
1) 電池の充電	7
2) 電池のM255への接続	7
(2) AC電源	7
8. ロール紙のセット	8
9. インクリボンのセット	10
10. 保証とアフターサービス	13

1. プリンタの概要

(1) 概略図



(2) 仕様

名 称	テクノテスター専用プリンタ	
型 式	M255	
印 字 方 法	5×7 ドットインパクト方式	
印 字 速 度	2行/秒±20%	
印 字 桁 数	24桁	
インクリボン	紫リボンカセット (印字可能字数約25万字)	
印 字 用 紙	ロール紙 幅57.5±0.5mm 巻径60mm全長30m 印字可能行数 約8000行/巻	
印 字 内 容	試験機の最大値/現在値のデータ印字 荷重・変位検出タイプ/荷重検出タイプと単位の自動判別 最大値印字時の日付・時刻と TEST NO.の自動印字	
メモリー	データ: リチウム電池にバックアップされたRAM 設定値: NOV-RAM (不揮発性RAM)	
インターフェイス	RS-232C	
所 要 電 源	充電式専用ニッカド電池 (DC6V) または AC100V±10% 約30VA専用ACアダプタ	
	電池寿命	充放電約300回*
	電池使用時間	3秒間隔の印字で約6時間 (満充電時) *
	電池充電時間	約2時間*
本 体 質 量	約1kg	
附 属 品	専用ACアダプタ、専用ニッカド電池、専用充電器、 専用コード、キャリングケース、ロール紙 各1 インクリボン ×2	

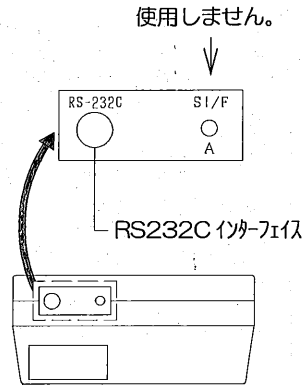
※ 周囲温度等、使用条件により異なる場合があります。

2. 試験機との接続

サンコーテクノ製の試験機測定部（RS-232C出力付）と
付属の専用コードで接続します。

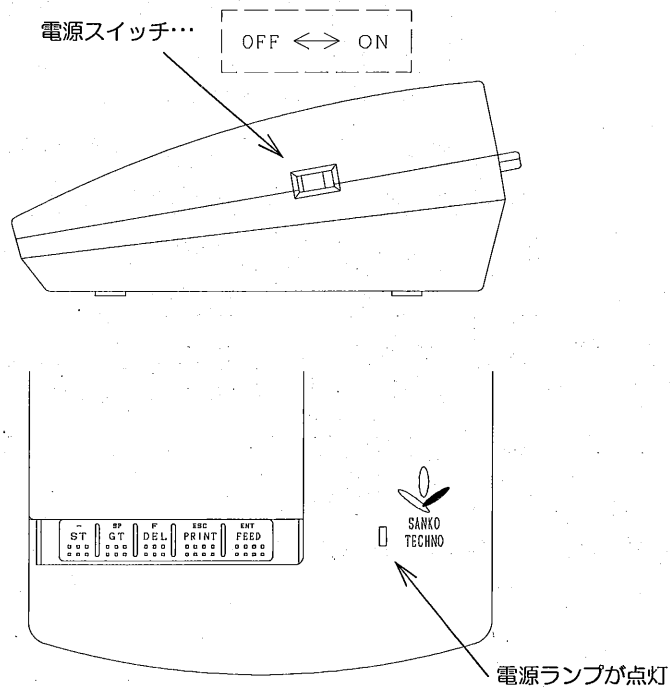
専用コードをM255のRS-232Cインターフ
ェイス（右図参照）と、試験機測定部の外部出力コネ
クタ（RS-232C）に差し込んで接続します。

- ※ S I / F A は使用しません。
- ※ M255には、専用コードをつないだまま使用、保管される
ことをお勧めします（コネクタの破損防止のため）。
- ※ 専用コードは、M255につないだまま、キャリングケース
の中で束ねられます。



3. 電源の入れかた

M255の電源スイッチを「ON」にすると、電源ランプが点灯します。



4. データ印字

M255はサンコーテクノ製の試験機（RS-232C出力付）と接続して使うと、荷重・変位検出タイプ/荷重検出タイプ、および単位を自動判別してデータ印字します。

(1) 最大値の印字

試験機測定部が記憶している最大値を印字するときは、試験機測定部の [印字] ボタンを押します。

印字例

荷重・変位検出タイプの場合

TEST NO.	1
DATE	1997/01/01 12:00
MAX	15.0kN
	2.50mm

荷重検出タイプの場合

TEST NO.	1
DATE	1997/01/01 12:00
MAX	15.0kN
	2.50mm

※ 最大値の印字形式には、TEST NO.付とTEST NO.なしの2種類あります。この印字形式を切り換えるための操作方法は5. 設定の変更 (p.5) を参照してください。

(2) 現在値の印字

試験機測定部が検知している荷重値、および変位値（荷重・変位検出タイプの場合）を印字するときは、M255の [PRINT (ESC)] ボタンを押してください。

印字例

荷重・変位検出タイプの場合

CURRENT	11.0kN
	2.50mm

荷重検出タイプの場合

CURRENT	11.0kN
---------	--------

(3) TEST NO.のクリア

TEST NO.は最大値の印字を行うと、1から自動的に1ずつ加えられていきます。このTEST NO.をクリアして再び1に戻りたいときは、M255の [GT (SP)] ボタンを押してください。

このとき、同時に下図のように印字されます。

---	GRAND TOTAL Ach	---
DATE	1997/01/01 12:30	
COUNT	10	
GT	0kN	

※ ここで、COUNT はクリア前のTEST NO.で、GT の値はダミーの0です。

5. 設定の変更

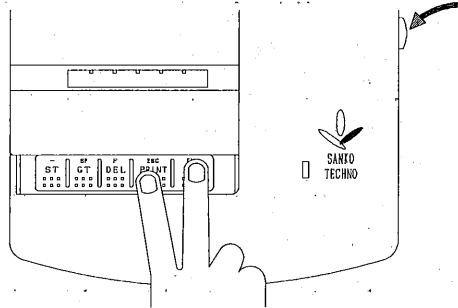
M255の日付・時刻や出力型式の変更は、以下の操作方法で行います。

設定変更のとき、上ぶたをあけると出てくる数字ボタンを使います。本体をキャリングケースにいている場合には、キャリングケースから出してください。

設定モードに入っている間は、通常の日付印字はできません。

(1) 設定モードへの入りかた

M255の[PRINT(ESC)]ボタンと[FEED(ENT)]ボタンを同時に押しながら、電源スイッチを「ON」にしてください。



[PRINT(ESC)]ボタンと
[FEED(ENT)]ボタンを
同時に押しながら、電源
スイッチを「ON」にします。

このとき次のように印字されます。

```
SETTING MODE
DATE          1997/01/01
TIME          12:00 ?
              OK→ENTER
Change→Input Number
```

※ 全ての設定を終了するか、電源スイッチを「OFF」にする、または[PRINT(ESC)]ボタンを押すと、設定モードから抜けることができます。

※ 設定の途中で設定モードを抜けた場合は、それまで設定した項目は記憶されません。

(2) 日付・時刻の変更

印字された日付・時刻で問題がなければ [FEED (ENT)] ボタンを押してください。
変更するときは、数字ボタンにより、日付・時刻の数字だけを直接入力します。

例) 1997年01月11日13時01分を入力するとき。

[1] → [9] → [9] → [7] → [0] → [1] → [1] → [1] →
[1] → [3] → [0] → [1] → [FEED (ENT)]

※ 月、日、時、分などは必ず2桁で入力してください。

1月は [0] [1]，2日は [0] [2]，3時は [0] [3]，4分は [0] [4] など

※ 時刻は24時間制の表現で入力してください。

午後5時→17時 など

(3) 印字形式 (DATA PRINT FORMAT) の変更 (TEST NO.付/なし)

日付・時刻の設定が終わると、次のように印字されます。

```
DATA PRINT FORMAT ? 1-7
□>Default:2
      OK→ENTER
      Change→Input Number
```

2は TEST NO.付です。これで問題がなければ [FEED (ENT)] ボタンを押してください。

TEST NO.なしに変更するときは、数字ボタンの [1] を押してください。このとき次のように確認を求める印字がされます (TEST NO.なしに変更した場合)。

```
DATA PRINT FORMAT ? 1-7
□>Default:1
      OK→ENTER
      Change→Input Number
```

ここで、M255の [FEED (ENT)] ボタンを押すと変更が確定されます。

以降の項目については、印字されたらその度に、M255の [FEED (ENT)] ボタンを押してください。

すべての項目の確認が終わると、下図のいずれかが印字され、通常の使用可能状態に戻ります。

SET UP END!!

または

SET UP COMPLETE!!

※ 印字形式 (DATA PRINT FORMAT) は、1、2以外は使用しないでください。

6. あとかたづけ

使用後はM255の電源スイッチを「OFF」にして、試験機測定部のコネクタから専用コードを外してください。

M255と専用コードはつないだまま、キャリングケースのバンドで束ねてください。

※ ホコリや湿気の少ない屋内で保管してください。

7. 電源の接続

M255は専用ニッカド電池とAC電源のどちらの電源でも動作します。

(1) 専用ニッカド電池

1) 電池の充電

充電器のプラグを電池に差し込み、AC100V電源に充電器のACプラグを差し込みます。充電中は充電器のランプが点灯し、充電終了するとランプが点滅状態に変わります。

※ 電池は十分に使い切ってから充電するようにしてください（容量の低下を防ぐため）。

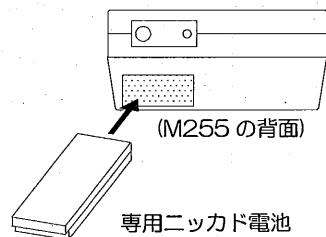
※ 充電終了後は充電器と電池、AC電源を外してください。

2) 電池のM255への接続

M255本体の電池スロットに電池を差し込みます。

※ 本体をキャリングケースに入れているときは、キャリングケースから出してください。

※ 電池スロットに他の電池やアダプタが差し込まれていた場合は、予め外してください。

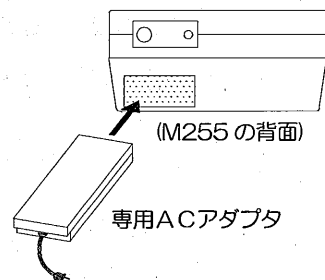


(2) AC電源

M255本体の電池スロットに専用ACアダプタを差し込みます。

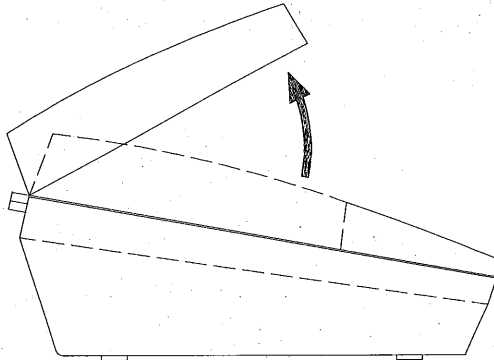
※ 本体をキャリングケースに入れているときは、キャリングケースから出してください。

※ 電池スロットに他の電池などが差し込まれていた場合は、予め外してください。



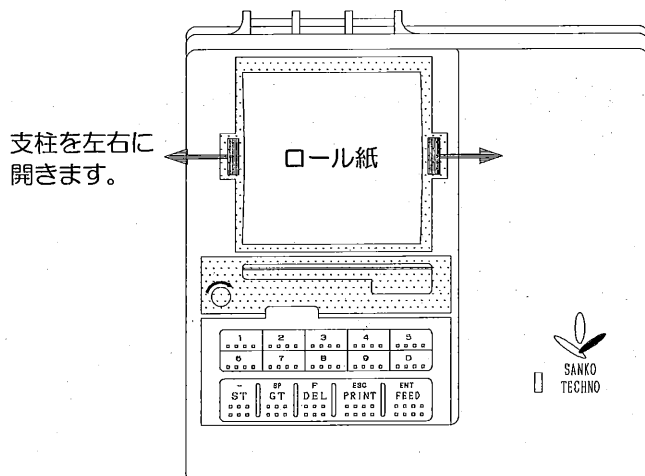
8. ロール紙のセット

- ① 上ぶたをあけます。

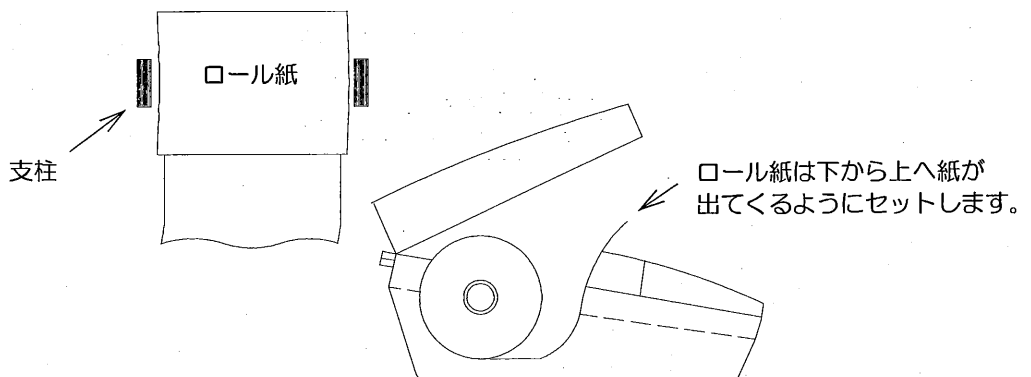


※ 本体をキャリングケースに入れているときは、キャリングケースから出してください。

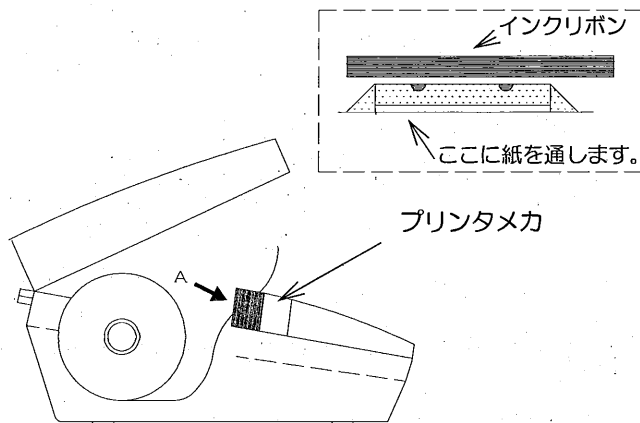
- ② 支柱を左右に開くとロール軸が外れます。



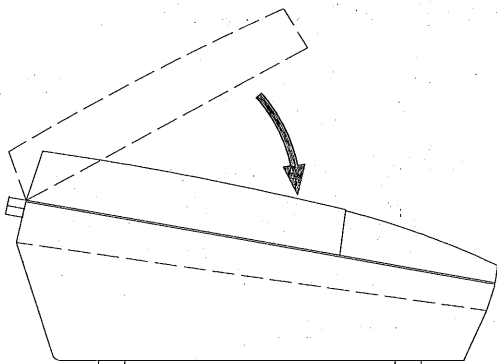
- ③ 古いロール軸を取り外し新しいロール紙をセットします。



- ④ プリンタメカに給紙します。
[FEED (ENT)] ボタンを押しながら、紙をプリンタメカに通します。

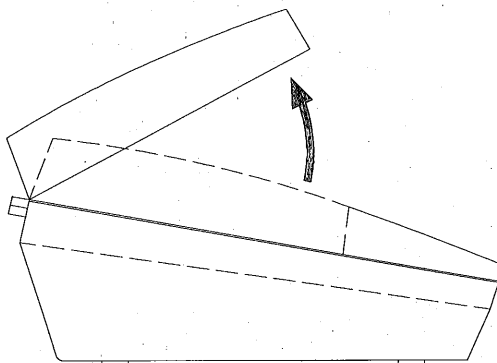


- ⑤ ロール紙が出てきたら、上ぶたをしめて完了です。



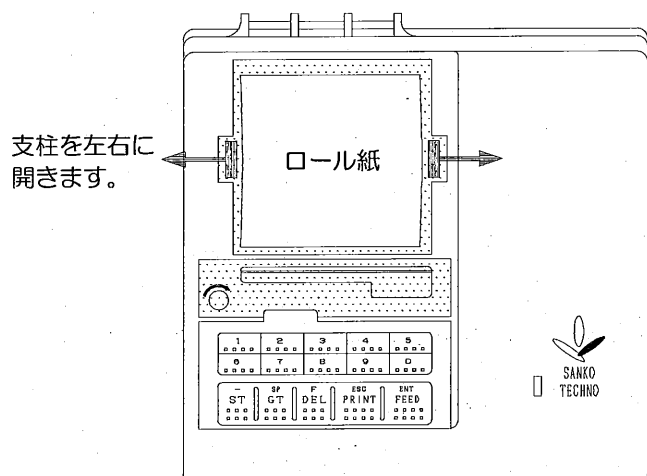
9. インクリボンのセット

- ① 上ぶたをあけます。

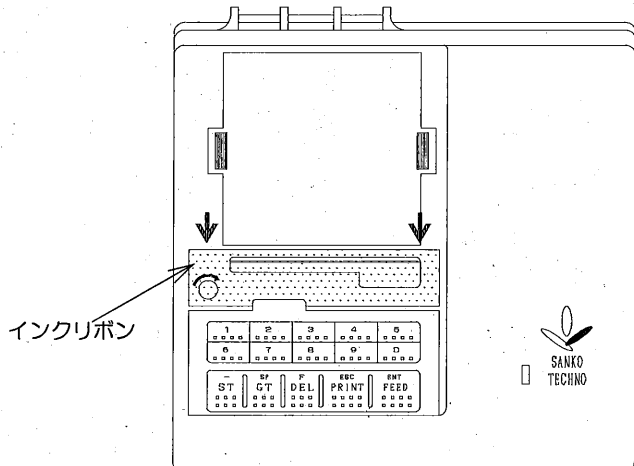


※ 本体をキャリングケースに入れているときは、キャリングケースから出してください。

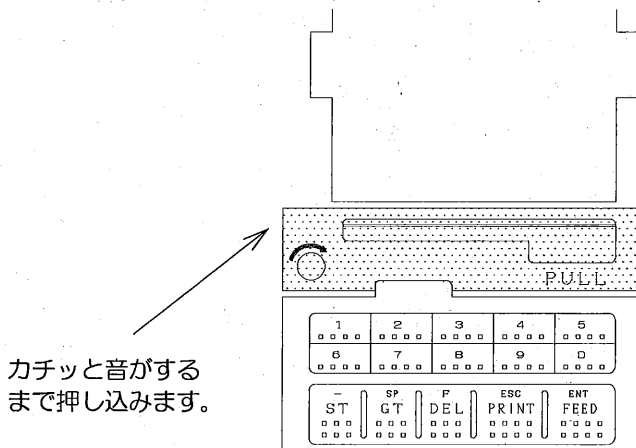
- ② 支柱を左右に開くとロール軸が外れます。



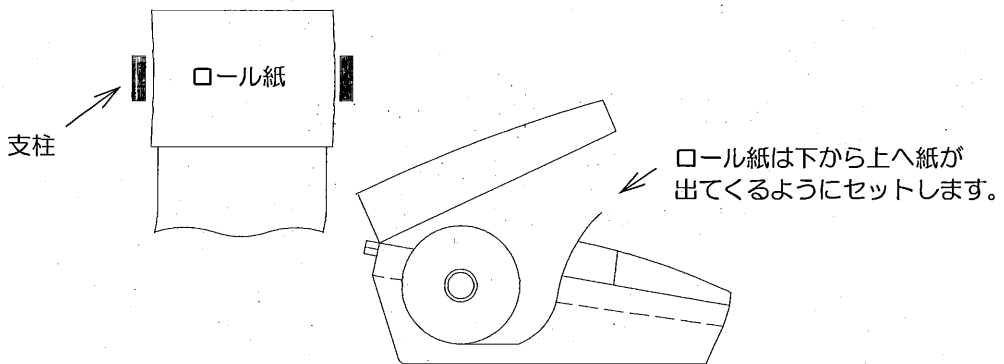
- ③ 古くなったインクリボンを矢印の部分を持って上に引っ張り、取り外します。



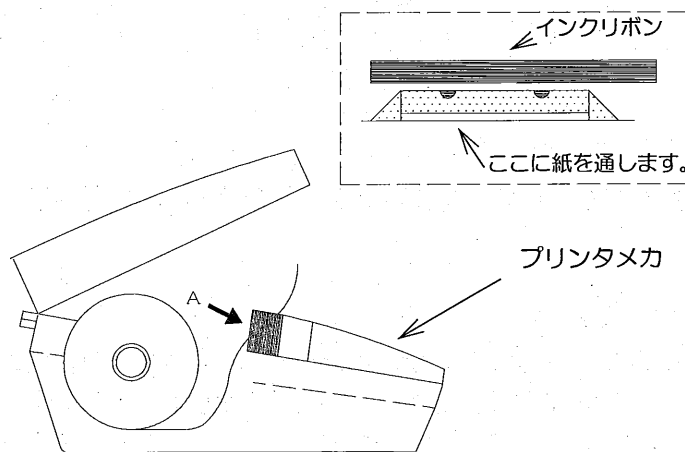
- ④ 新しいインクリボンを向きに注意して取り付けます。



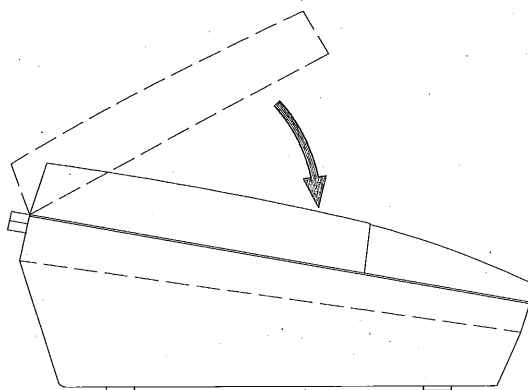
- ③ ロール紙を再度セットします。



- ④ プリントメカに給紙します。
[FEED (ENT)] ボタンを押しながら、紙をプリントメカに通します。



- ⑤ ロール紙が出てきたら、上ぶたをしめて完了です。



10. 保証とアフターサービス

◎保証期間について

本器は厳重な検査に合格した製品です。
製品購入日から1年間は、弊社の製造上の問題に起因することが明らかな故障については、無償で修理もしくは製品を交換します。
詳しくは、添付の保証書をご覧ください。

◎保証範囲外の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼に基づき、有償修理いたします。

◎修理を依頼される時

修理を依頼される時には、保証範囲の内外にかかわらず、型式（M255）と製造番号、ならびにできるだけ詳しい故障の症状を、弊社の支店・営業所までお知らせください。本器の製造番号は本体下面中央付近に表示されています。

メモ

